

# 2018～2019 年度

## 第4回キャビネット会議

司会：キャビネット幹事 L. 若松 忠洋

〈日時〉 2019年4月21日(日) 11:00～12:00

〈場所〉 ホテル京セラ 別館2階 「フラワー」

### 1 開会前言・ゴング

### 2 国家斉唱

### 3 ライオンズクラブの歌斉唱

### 4 物故ライオンに黙祷

### 5 出席者紹介

### 6 地区ガバナー挨拶 (L. 曾山 純廣)

(趣旨)

本年度「クラブ活性化セミナー」開催・2つクラブのエクステンション・1つの支部クラブ結成など各委員会で様々な取組みをしていただいた。委員長はもちろん副委員長には御尽力いただき感謝している。ガバナーになり様々な地域に行った。それにはほとんど、キャビネット幹事・会計も同行してくれた。LCIFについて本地区はあまり良い成績ではないが、献血といっしょでひとりひとりの気持ちが大事。奄美大島のクラブエクステンション問題については、皆様にもご迷惑をおかけしたが、双方が同意をしている。このことを前向きに次年度へは解決した、解決するんだということを次期役員などにしっかり引き継いでもらいたい。新しい令和の次第へいい方向に進んでいくんだという気持ち。

### 7 第3回キャビネット会議議事録の承認について

※ 過半数多数により承認された。

### 8 第4回長期計画委員会報告

※L 喜禎により長計の報告がなされた。

### 9 議事

- (1) 地区の負担は抑えたまま次年度の LCIF 交付金申請額を 3,4000 ドルまで引き上げて申請してほしい旨、クエスト委員長 L 新山より提案があった。

(L 寿浦)

なぜその金額なのか説明してほしい。

(L 新山)

今年度から上限が 50,000 ドルに引き上げられているし、50,000 ドルの申請が一番いいが 25%の地区の負担金を確保しなければならないということ、同時に交付された額をすべて活用するだけの受け皿がなければならない、現在確実に使うところとして今回 34,000 ドルで計算している。

(L 寿浦)

では将来受け皿である学校が増えれば 50,000 ドルまで申請できるということか。

(L 新山)

できる。50,000 ドルを 2 年計画で申請もできるが昨年名前のあった中学校が消えていたりするので慎重にしている。

過半数多数により承認された。

## 10 報告事項

### (1) 四半期会計報告

※キャビネット会計 L 松元より会計報告がなされた。

※キャビネット会計 L 松元より 2013 年以前に入会の家族会員（18 名）について現在地区費等を集金しているがそれ以降に入会している家族会員については地区費等を集金していないという説明がなされた。

(L 松元)

それを 0 にできるのか複合事務局に確認したところ「年次大会ではかればできる」という回答をいただいている。家族会員が地区費などを納めるのは全国においても珍しいこと。今期は返金などできないがまた次期に引継ぎ、御報告したい。

### (2) 運営関係報告

※キャビネット幹事 L 若松より運営関係報告がなされた。

## 11 経過・現況報告

(第二副地区ガバナー・鹿児島 R・RC・L 寿浦)

30 名増加で嬉しいことだが、6 月は減少の傾向にある。再度頑張っていきたい。LCIF については 8 Z の離島が全滅…来期は 5 ドルでも 10 ドルでも声をかけていきたい。事務局員がいないクラブは手続き方法がわからないのではないかと。力になっていきたい。

(第一副地区ガバナー L 玉城)

沖縄ピース LC が結成された。来年の 2 月にももう一つエクステンションされるので早めに承認されるようモーションをかけていきたい。

(鹿児島 1 Z・ZC・L 桑原)

1 Z はすばらしいアクティビティができた。まずは会員が 25 名増えたこと。支部が結成されたこと。多額の金銭アクトもできた。献血も 756 件。LCIF も 33,783 ドル。全体の 4 分の 1 は 1 Z でまかなえたのではないかと。ただ種子島 LC にも何回も行ってお願いをしてきたがまだ結果は出ていない。引き続き 100 ドル献金についてはご理解を求めていきたい。今後は LCIF の交付金をどう利用するか、5,000 ドル以上 15%返ってくることを各クラブに理解していただくため次期 ZC・会長に引き継いでいきたい。

(鹿児島 2 Z・ZC・L 山本)

ガバナーから、RC から頂いた課題を各 LC にお願ひしてきた。会員増強については 20 人の増強ができた。LCIF では 20,250 ドルの献金があった。委員長がいるんだから 100 ドル献金をしようということで自分の

クラブでは全員が100ドルを献金した。会員も9名の家族会員を獲得した。まずは家族会員で入会してもらい正会員になるということもあると思っている。ガバナーの躍動セミナーはよかった。また開催してほしい。

(鹿児島3Z・ZC・L. 揚野)

会員が入会しても長く続かないという課題を考えた。例会を楽しくして100%出席の例会を目指した。グループ討議をしたり会員のコミュニケーションを図る例会にした。次期においてもそういったことができるよう引継ぎをした。ゾーン内で会員同士のコミュニケーションを図る活動の取り入れも引き継いでいきたい。

(鹿児島4Z・ZC・L. 本田)

入会が17名、退会が15名という結果になっている。退会を引き留められなかったかと思っている。MJFが8,000ドル・合計で15,160ドルの献金だった。メンバーズスクールの開催は好評だった。今期の申し送りとしては共同アクティビティ・YCEについての理解などを理解させていきたい。

(鹿児島5Z・ZC・L. 小川)

20ドル100ドル献金については0のクラブが2クラブ。お願いをしているので0は消えてくるのではないかと。初めての試みで合同例会を行った。午前にゴルフをして夕方から例会をした。次年度にも引き継いでいく。まとまりのあるゾーンなので今後とも地域にあったライオンズ活動をしていきたい。

(鹿児島6Z・ZC・L. 折田)

会員増強については8名増えたが加治木LCの解散があった。若い会員を増やすことがライオンズクラブの発展につながるのではないかと。リーダー講習会や糖尿病セミナーで勉強したことを他の会員さんになかなかお伝えできなかったことが残念。

(鹿児島7Z・ZC・L. 加藤)

会員がマイナス3名だったが6月までに増やせるよう頑張りたい。会員さんのコミュニケーションのをはかろうとしたがなかなか合同例会を出来なかったので次期開催できるよう時期のZCのサポートを頑張りたい。家族会員はなかなか理解が得られない会員さんもいるのでそこを緩和していきたい。

議事録作成人 キャビネット会計

松元 武

議事録署名人 情報テクノロジー委員長

青木 知寿



地区 YCE 委員長

前田 豊年

